

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco/TANDBERG/Codian ビデオ 会議 プロダクトをダウングレード](#)

[Cisco TelePresence Server、MCU、スーパーバイザ、または ISDN ゲートウェイのためのプロセスをダウングレード](#)

[Cisco TelePresence IP VCR または IPゲートウェイのためのプロセスをダウングレード](#)

[ステップ 1：設定を復元する](#)

[ステップ 2：ソフトウェアをダウングレード](#)

概要

この資料にソフトウェアをダウングレード方法を記述されています以前のバージョンにデバイスで実行する。方式が依存デバイスに異なるので、ダウングレードべきデバイスに対応するプロセスに従うことは重要です。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco TelePresence Server
- Cisco TelePresence IP GW 3500/MSE IPGW ブレード
- Cisco TelePresence IP VCR 2200/MSE VCR ブレード
- Cisco TelePresence ISDN GW 3200 および 3241/MSE 8310 および MSE 8321 ブレード
- Cisco TelePresence MCU 4200/MSE 8420
- Cisco TelePresence MCU 4500
- Cisco TelePresence MCU 5300
- Cisco TelePresence MSE 8050 スーパーバイザ

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco TelePresence Server
- Cisco TelePresence IP GW 3500/MSE IPGW ブレード
- Cisco TelePresence IP VCR 2200/MSE VCR ブレード
- Cisco TelePresence ISDN GW 3200 および 3241/MSE 8310 および MSE 8321 ブレード

- Cisco TelePresence MCU 4200/MSE 8420
- Cisco TelePresence MCU 4500
- Cisco TelePresence MCU 5300
- Cisco TelePresence MSE 8050 スーパーバイザ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

Cisco/TANDBERG/Codian ビデオ 会議 プロダクトをダウングレード

注意： いずれの場合も Cisco は可能な限り最新の利用可能なソフトウェアバージョンがインストールする必要があることを推奨します。さらに、なぜならこれらのデバイス Cisco これらのソフトウェアバージョンにだけダウングレードをサポートします（以前のバージョンへのダウングレードはサポートされません）：

- Cisco TelePresence Server バージョン 2.2 または それ 以降
- Cisco TelePresence MCU バージョン 4.0 または それ 以降
- Cisco TelePresence ISDN Gateway バージョン 2.0 または それ 以降
- Cisco TelePresence スーパーバイザバージョン 2.0 またはそれ以降

Cisco TelePresence Server、MCU、スーパーバイザ、または ISDN ゲートウェイのためのダウングレードプロセス

からダウングレードこと) これらのデバイスの 1 つのソフトウェアをダウングレードために、Cisco.com (の適切なソフトウェア リリース メモのダウングレード手順セクションにバージョンに関するリリース ノート単に続いて下さい。Cisco.com これらの場所からリリース ノートをダウンロードできます：

デバイス	Location
TelePresence サーバ	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11339/prod_release_notes_list.html
MCU 5300	http://www.cisco.com/en/US/products/ps12283/prod_release_notes_list.html
MCU 4500	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11341/prod_release_notes_list.html
MCU 4200/MSE 8420	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11342/prod_release_notes_list.html
ISDN ゲートウェイ	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11448/prod_release_notes_list.html
スーパーバイザ	http://www.cisco.com/en/US/products/ps11340/prod_release_notes_list.html

Cisco TelePresence IP VCR または IPゲートウェイのためのダウングレード プロセス

1. これらのデバイスの 1 つのソフトウェアをダウングレード前に、Cisco はダウングレード ソフトウェア バージョンが以前にインストールされたときにあった初期の構成にデバイス コンフィギュレーション (configuration.xml ファイル) を復元することを推奨します。すなわち、デバイスが望ましいダウングレード バージョンからアップグレードされた前に保存されたバックアップ コンフィギュレーション ファイルを使用して下さい。復元するべき適切

なバックアップがない場合バージョンを渡るセキュリティ処理の変更によるダウングレードの後で想定外の結果を経験するかもしれません。デバイスコンフィギュレーションを復元するために、Step1 の手順に従って下さい: **設定を復元する**。

2. ソフトウェアをダウングレードために、**ステップ 2** の手順に従って下さい: **ソフトウェアをダウングレード**。

ステップ 1: 設定を復元する

1. > **アップグレード Upgrade** ページに行くために『Settings』を選択して下さい。
2. 復元 設定 エリアでは、にナビゲートし、適切な configuration.xml バックアップ ファイルを選択して下さい。ファイルのための関連する管理者ユーザ ユーザー名およびパスワードを持たなければなりません。
3. ユーザ設定をチェックして下さい。このコンテキストでは、ユーザ設定はデバイスのために設定可能である場合「進めましたアカウント セキュリティモード」および「アイドル状態 Web セッション タイムアウト」のセキュリティオプションが含まれています (**設定 > Security** ページで) 。
4. 必要であれば、ネットワーク設定をチェックして下さい。このコンテキストでは、ネットワーク設定はデバイスのために設定可能である場合「HTTPS へのリダイレクト HTTP 要求」セキュリティオプションが含まれています (**設定 > Security** ページで) 。
5. **バックアップ ファイル**を『Restore』をクリックし、終わるために設定の復元を待って下さい。 **ステップ 2** に進んで下さい: **ソフトウェアをダウングレード**。

ステップ 2: ソフトウェアをダウングレード

注意: 別のものに請求書を送るか、監査するか、または完了すればのにコール詳細レコード、監査ログ、または他のどのログもタスク使用すれば、ダウンロードを開始する前にすべての記録されたデータをダウンロードし、保存して下さい (支援についてはオンラインヘルプを参照して下さい) 。 そうする失敗はデータ損失という結果に終るかもしれません。

前提条件

- ソフトウェア ダウングレード プロセスは完了するためにハードウェア 再始動を必要とし、25 分程かかることができます。 ダウンタイム ウィンドウをスケジュールし、必要に応じてユーザに通知して下さい。
- 開始する前に利用可能なこれらの項目を持って下さい:
 - 必須 ソフトウェア バージョンのためのイメージ ファイル (Cisco.com からのダウンロードによって利用可能な) 。
 - コール詳細レコード、監査ログ、または使用する他のログファイルのバックアップ。
 - ダウングレードべきすべてのデバイスへの管理アクセス。
 - Cisco テクニカル サポートに連絡する必要があるればダウングレードべきすべてのデバイスの型番およびシリアル番号。

Webインターフェイス手順

1. イメージ ファイルをローカルで解凍して下さい。
2. Webブラウザでは、デバイスの Webインターフェイスにナビゲートして下さい。

3. 管理者として署名して下さい。
4. > **アップグレード Upgrade** ページに行くために『Settings』を選択して下さい。
5. Upgrade ページの主要なソフトウェア イメージ セクションでは、に参照し、ソフトウェア イメージファイルを選択して下さい。
6. **ソフトウェア イメージを『Upload』** をクリックして下さい。Webブラウザは数分かかるかもしれないデバイスにファイルをアップロードします。これによりアップロードは失敗しますように、Upgrade ページから参照しませんでしたり、またはアップロードプロセスの間にページをリフレッシュしないで下さい。ポップアップウィンドウはアップロード進行状況を表示します。
7. アップロードが完了するとき、ポップアップウィンドウを閉じて下さい。Webブラウザは自動的にリフレッシュし、メッセージ「完了する」をメインイメージアップロード表示する。
8. 『Shut Down』 をクリックして下さい (製品)。 **確認すべきオプション変更 (製品) シャットダウンされる。** 確認するためにクリックして下さい。
9. (製品) 『Restart』 をクリックし、**アップグレードして下さい。** デバイス リブートはそれ自身をアップグレードし。これは 25 分程かかることができます。非アクティブがログアウトされた原因であるかもしれません。これが起こる場合、ログイン再度および選択した設定は > シャットダウンします。 (製品) 『Restart』 をクリックし、**アップグレードして下さい。**
10. デバイスが再起動するとき、デバイスが必須 ソフトウェア バージョンを使用するようになることを確認するために Status ページに行ってください。ダウングレードプロセスは現在完了しました。

FTP 手順

ダウングレードべき FTP の使用は推奨されないし、Cisco は Web インターフェイスを代りに使用するように助言します (前のセクションを参照して下さい) 。

1. デバイスサポートが FTP するかどうか、そして FTP サービスが **ネットワーク > Services** ページで有効になることを確認して下さい。
2. イメージ ファイルをローカルで解凍して下さい。
3. FTP クライアントと製品に接続して下さい。
4. 管理者としてログイン (Web インターフェイスに接続するのが常である) 管理者の資格情報を使用して下さい。
5. ルートにイメージ ファイルをアップロードして下さい。
6. アップロード (Web インターフェイスの Upgrade ページからリブートできます) の後でハードウェアをリブートして下さい。それとしてデバイスのアップグレード自体は再起動します。
7. Web インターフェイスへのログインは Status ページにデバイスが必須 ソフトウェア バージョンを使用するようになることを確認するために行き。ダウングレードプロセスは現在完了しました。